

第8回

できることを伝えよう

講師

阿野 幸一

◆◆◆ 今回の目標 ◆◆◆

助動詞 can が動詞の前につくと、動詞に「～することができる」という意味を加えることができます。この can のように、動詞に意味を加えて動詞の働きを助ける言葉を「助動詞」といいます。can を使って「～することができます」と伝えたり、「～してもいいですか」とたずねたりしてみましょう！

否定文の can't は強く発音される、Can I や Can you から始まる疑問文では音がつながって発音されるなど、英語の発音の特徴についても練習してみましょう！

1 スキット前半の内容から



の中には、どんな単語が入るか考えてみましょう！

noodle shop のおすすめメニュー



Shiori が James を誘って立ち寄ったのは、そばやうどん、ラーメンがある日本の飲食店。Shiori がおすすめのめん類に James は？

Shiori : This is a noodle shop. They have many kinds of noodles.

James : Great! Then, I want to eat spaghetti!

Shiori : Oh, sorry. You can't eat spaghetti here, but you can eat soba, udon, and ramen.

James : OK. What do you recommend?

Shiori : This restaurant is famous for *natto* soba.

you eat *natto*?

2 文法・表現 助動詞 can を使った文が伝える意味



海外からの方に「～は食べられますか？」と聞くには、どう言いますか？

外国の方に、食べ慣れないものや、苦手なものがあるかどうか確かめることは、よくありますよね。たとえばお寿司屋さんへ誘うとき、「刺身は食べられますか？」とたずねるには、どう聞けばいいのでしょうか？

次の2つの文、どちらが適切か考えてみましょう。

- ① Do you eat sashimi?
- ② Can you eat sashimi ?

まず①の文では、普段の習慣としてお刺身を食べるかどうかを聞いています。お寿司屋さんへ誘うか誘わないかを判断するためには、その人が刺身を食べるかどうかを知る必要があるので、Do you eat sashimi ? と聞くのが適切です。

では②の文ではどうなるのでしょうか？ can を使って Can you eat sashimi? と聞くと、聞かれた人は「なんでそんなことを聞くのだろう」と思ってしまうかもしれません。これは「お刺身を食べようと思えば食べることができるか?」、つまり、「生の魚を食べるのは苦手だとしても、頑張れば食べることができるか?」をたずねることになってしまうからです。このため、こうした場面で can は使わない方がいいでしょう。

助動詞 can の使い方のポイント！



動詞を助けるから「助動詞」なんだね！

He can play the piano. 「彼は、ピアノを弾くことができます。」

動詞の前にあって、その動詞に意味を付け加えるなど、動詞の働きを助ける言葉を「助動詞」といいます。

助動詞のあとにくる動詞には、たとえば主語が he や she であっても play に s はつきません。主語がなんであれ、辞書に載っている元の形、つまり原形のまま使われます。

4 同時通訳者・田中慶子さんに聞く「英語の発音」



田中さんも最初は、発音にとっても苦労されたそうです！

「英語の発音は苦手！」という人へのアドバイス

① 英語と日本語の音の違いを頭で理解しよう！

大きな違いの一つは「音節」。たとえば Japan は、日本語では「ジャ」「パ」「ン」と3つの音として認識されますが、英語では Ja・pan と2つの音節で発音されます。

また、英語はリエゾンと言って、直前の音とそれに続く音とが「流れて」つながるように発音されることがあります。Thank you は、「サンク・ユー」と分けずに、「サンキュー」となるのが、代表的な例となります。



② 日本語には無い音は、学んで覚えるしかない！

英語は日本語にくらべて圧倒的に音の数が多くあります。たとえば日本語には無い cat の /æ/ の発音もそのひとつ。耳で聴いて確かめながら、使う筋肉を意識して何度も発音練習してみましょう。そうすると顔が筋肉痛になるので、発音する筋肉の場所や動きが日本語とはまったく違うことがわかります。こうして耳と筋肉を鍛えれば、苦手な音も発音できるようになりますよ。

発音を気にしすぎてしまうのもかえって英語を話せなくなってしまうのでよくないですね。まずはたくさん話して英語を使いこなせるようになることが大切です。

発音で意味が反対に！

can の否定形は can't ですが、実際の会話では最後の t は発音されないことが多いです。そのため、肯定文でも否定文でも can に聞こえます。では、can、そして can't をどのように区別したらいいのでしょうか？

話を聞いている人は、can が強く発音されているか、それとも弱く発音されているかで、肯定なのか否定なのかを区別しているんです。例えば、「ギターを弾ける」というときには I can play the guitar. の can は弱く発音しますが、I can't play the guitar. は can't を強く発音することで「弾けない」ことを伝えているんです。

発音もコミュニケーションをとる上で、とっても大切な要素なのです。

